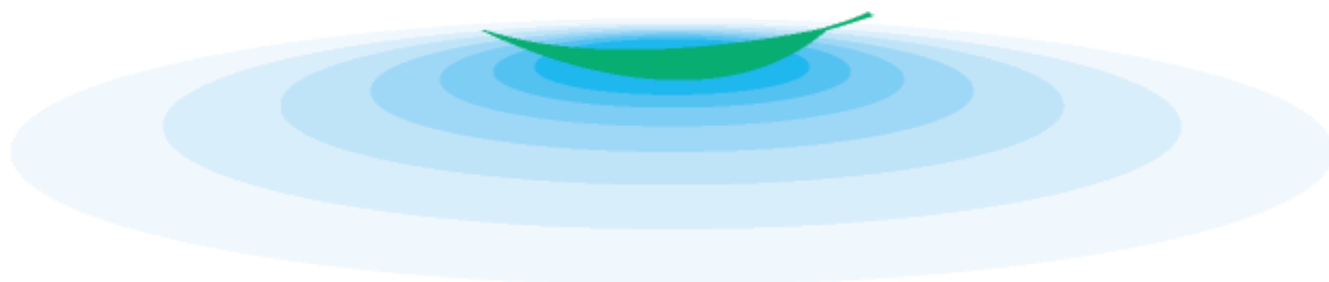


# 2023年度 環境経営レポート

大特商事株式会社



認証番号 0007322



(対象期間:2022年11月～2023年10月)

発行日:2023年12月11日

# ◆組織の概要

## 1) 名称及び代表者名

大特商事株式会社  
代表取締役社長 坂本 浩章

## 2) 所在地及び設立

対象事業所 所在地

本 社	登記上 大阪市東住吉区山坂5丁目9番13号 認証登録 大阪府中央区大手前1-5-63 大阪合同庁舎3号館 15階	
営業所名		TEL
2号館店	大阪府中央区大手前4丁目1番67号 大阪合同庁舎第2号館 1F	06-6949-6248
3号館店	大阪府中央区大手前1丁目5番63号 大阪合同庁舎第3号館 15F	06-6942-1556
3号館 喫茶室	大阪府中央区大手前1丁目5番63号 大阪合同庁舎第3号館 15F	
入国管理局店	大阪府住之江区南港北1-29-53 大阪出入国在留管理局 2F	06-6613-6850

設立 昭和41年8月8日

## 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 坂本浩章 TEL:06-6942-1556  
Fax:06-6942-0308

## 4) 事業内容

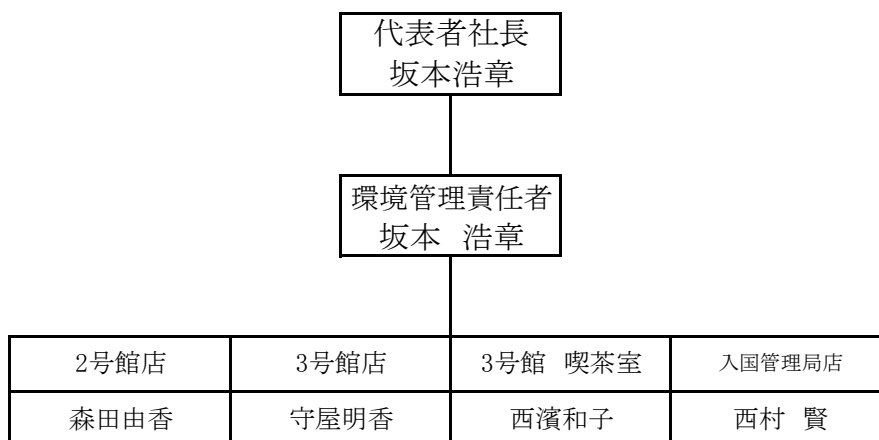
企業及び官公庁内売店業務、主に飲料や食品の小売販売

5) 事業の規模 2023年度  
売上額 1.1億円  
従業員数 10人  
延べ床面積 441㎡

営業所	2号館店	3号館店	3号館 喫茶室	入国管理局店
従業員	2名	4名	1名	3名
延べ床面積	85㎡	73㎡	185㎡	98㎡

6) 事業年度 8月～7月  
EA21取組 11月～10月

## 7) エコアクション21取り組み推進体制図



## 8) 責任と権限

役 職	責任 ・ 権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境方針の制定</li> <li>・経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備</li> <li>・環境経営システムの定期的見直しの実施</li> <li>・社内情報の外部公開可否の決定</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置</li> <li>・代表者へ、環境経営システムの実施報告</li> <li>・環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者</li> <li>・全員参画によるEA21の運営改善を推進</li> <li>・EA21関連文書の作成、改廃、保管、伝達の業務を推進</li> </ul>
各 営業店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用電力の削減</li> <li>・業務上必要な調達品のグリーン購入</li> <li>・仕入商品のグリーンマーク取り扱いを推進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者は代表者から環境取り組みに関する権限を委譲されEA21の推進に責任を持ち、EA21の要求事項を満たす環境経営システムを構築し実施し管理する。</li> <li>・各部の担当者は、自らが組織の中でどのような役割を担っているかを確認し環境管理責任者の指導のもとに行動する。</li> </ul>	

## ◆認証・登録の対象範囲

### 1) 対象事業所 所在地

本 社	認証登録	大阪市中央区大手前1-5-63	大阪合同庁舎3号館	15階	
営業所名					
2号館店		大阪市中央区大手前4丁目1番67号	大阪合同庁舎第2号館	1F	06-6949-6248
3号館店・		大阪市中央区大手前1丁目5番63号	大阪合同庁舎第3号館	15F	06-6942-1556
3号館 喫茶室					
入国管理局店		大阪市住之江区南港北1-29-53	大阪出入国在留管理局	2F	06-6613-6850

### 2) レポートの対象期間

2022年11月～2023年 10月

# 大特商事株式会社

## ◆環境経営方針

### \*基本理念

当社は、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用を推進します。

そのために、当社の売店業務活動(喫茶含む)における環境負荷の低減や、環境に有益な事業活動を目指し、全社員一丸となって自主的、積極的に環境への取り組みを進めます。

### \*基本方針

1. 環境に経営を位置付けて環境経営推進をめざし、経営における課題とチャンスを確認にして環境への取り組みに反映させます。
2. 当社は、次の環境課題に積極的に取り組みます。
  - ① 電力消費による二酸化炭素排出量の削減
  - ② 車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素排出量の削減
  - ③ 業務上必要な調達品のグリーン購入の推進
  - ④ 環境に配慮した事業活動の推進(環境定期会議の実施)
  - ⑤ 水使用量の削減
  - ⑥ 廃棄物の適正管理
  - ⑦ プラスチック類の削減
3. 環境関連法規制や、環境への取り決め事項を遵守します。
4. 全従業員に環境経営方針の内容を周知徹底し、環境保全に関する意識の向上を図ります。
5. 当社の環境経営方針は、関連する利害関係者及び第三者(一般の人々)からの求めに応じて、いつでも開示します。
6. 環境経営の継続的改善に取り組みます

制定日: 2010年11月 1日  
改定日(1次):2017年11月10日  
改定日(2次):2019年 4月19日  
改定日(3次):2021年 8月15日

代表取締役

坂本浩章



# ◆環境経営目標及びその実績

## 1) 環境経営目標と実績

項目		年度		2022年 (2021.11-2022.10)	2023年 (2022.11-2023.10)		2024年 (2023.11-2024.10)	2025年 (2024.11-2025.10)
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 前年比	(目標) 前年比		
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	71,162	71,091	62684	(-0.1%)71091	(-0.1%)70948		
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	3,614	3,605	3,612	(-0.2%)3598	(-0.2%)3590		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	74,776	74,696	66,296	74,689	74,538		
グリーン購入	1点	1点	1点	1点	1点	1点		
事業活動課題とチャンス	定例会議	2回	2回	2回	2回	2回		
水使用量削減	m <sup>3</sup>	107.9m <sup>3</sup>	107.3m <sup>3</sup>	107.3m <sup>3</sup>	106.7m <sup>3</sup>	106.2m <sup>3</sup>		
廃棄物の適正管理	kg	863kg	854kg	975kg	846kg	837kg		
レジ袋使用枚数の削減	枚	6300枚	5985枚	6900枚	5685枚	5401枚		
プラスチック製品取扱いの削減	1点	0	1点	1点	1点	1点		

\* 二酸化炭素排出係数;0.418 kg-CO2/kWh 関西電力2017年調整後

\* 当社は、官庁・企業内の売店における販売業であるため、化学物質は対象外で環境経営方針、目標に取り上げていません。

## 2) 今年度の主な目標

・主な目標としてはプラスチック類の削減である、各店舗ではレジ袋削減のポスター掲示店頭での声掛け、プラスチック製品の削減を顧客にアピールすることを主な目標にした。マイカップ、マイバックの推奨にも今後とも注力して頂きたい。

◆環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と評価、  
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画計画

1) 当年度の目標及び計画の実績・取組結果と評価

項目 年度		2022年 (2021.11- 2022.10)	2023年 (2022.11-2023.10)		評 価	
		(基準年度)	(目標)	(実績)	評価	コメント
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	71,162	71,091	62684	○	1号館の閉店に伴い電力の使用が減少した
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	3,614	3,605	3,612	×	店舗間の定期移動に使用 0.6%増は概略達成とみなす
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	74,776	74,696	66,296	○	
グリーン購入	1点	1点	1点	1点	○	ほぼ定着した
事業活動課題とチャンス	定例会議	2回	2回	2回	○	従業員のコミュニケーションを重視
水使用量削減	m <sup>3</sup>	107.9m <sup>3</sup>	107.3m <sup>3</sup>	107.3m <sup>3</sup>	○	ほぼ限界
廃棄物の適正管理	kg	863kg	854kg	975kg	---	1号館の閉店に伴い廃棄物が増加した
レジ袋使用枚数の削減	枚	6300枚	5985枚	6900枚	×	取り組みを強化している
プラスチック製品取扱いの削減	1点	0	1点	1点	×	取り組みを強化している

マイカップ持参にプラ容器代相当を割引 (3号館喫茶室)

◇廃プラスチック問題に協力し、マイカップ持参者にプラスチック容器代相当を割引しています

◇エコマーク商品の販売など、先駆取組で環境配慮売店をめざしています

## 2) 当年度の取組施策と評価

	取組み施策	実行	目標達成
二酸化炭素排出量削減	①クールビズ、ウォームビズの励行	○	○
	②不使用時消灯の励行	○	○
	③こまめな冷蔵設備の清掃を行う	○	○
	④社用車のエコドライブの実行	○	×
グリーン購入推進	⑤コピー用紙を購入する際は再生紙にする	○	○
事業活動	⑥環境定期会議の実施	○	○
水使用料	⑦水使用量の削減	○	○
廃棄物適正管理	⑧廃棄物の適正管理	○	○
プラスチック類の削減	⑨プラスチック製品の削減	○	×

○できた △一部しかできなかった ×出来なかった — 目標設定なし

### ・取組み評価

- ①の項目については、社内に浸透しており、継続してほしい。  
 ②、③については、従業員で声を掛け合いお互いに確認すること。  
 ④については、継続して今の運転方法を行うこと。  
 ⑤については、実行されており、継続すること。  
 ⑥については計画通り実行されている。ては計画通り実行されている。  
 ⑦まとめ洗いなどの節水効果が出ている、このまま継続すること。  
 ⑧廃棄物の管理については問題なくできている。  
 ⑨今年度より取り入れたプラスチック類の削減、よく達成できなかった次年度は新しい案を出し削減減努力をしてほしい。

### 3) 次年度の目標

エコアクション21の取り組みを始めて約11年であるが、社員全員意識を継続させ、さらなる削減に努めていきたい。目標数値については、一年の実績を考慮し次年度の目標を考える。

項目 年度		2023年 (2022.11-2023.10)	2024年 (2023.11 -2024.10)
		(基準年度)	前年比(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	62,684	(-0.1%)62621
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	3,612	(-0.2%)3605
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	66,296	66,226
グリーン購入	1点	1点	1点
事業活動課題とチャンス	定例会議	2回	2回
水使用量削減	m <sup>3</sup>	107.3m <sup>3</sup>	(-0.5%)106.7m <sup>3</sup>
廃棄物の適正管理	kg	975kg	926kg
レジ袋使用枚数の削減	枚	6900枚	(-5%)6555枚
プラスチック製品取扱いの削減	1点	1点	1点

## 4) 次年度の取組施策

	取組施策
二酸化炭素排出量削減	①クールビズ、ウォームビズの励行
	②不使用时消灯の励行
	③こまめな冷蔵設備の清掃を行う
	④社用車のエコドライブの実行
グリーン購入推進	⑤コピー用紙を購入する際は再生紙にする
事業活動	⑥環境定期会議の実施
水使用料	⑦水使用量の削減
廃棄物適正管理	⑧廃棄物の適正管理
プラスチック類の削減	⑨プラスチック製品の削減

## ◆環境関連法規等の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

### 1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規等	該当する活動	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理委託	○
道路交通法	道交法を遵守し、安全かつ効率のよい運転に努力	○
グリーン購入法	コピー用紙等グリーン対象事務用品の購入努力	○
フロン排出抑制法	業務用冷蔵庫の室外機点検	○

廃棄物処理法は、取扱う量が少ないため、環境方針に取り上げていませんが適用対象にしています。

### 2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

# ◆代表者による全体の評価と見直し・指示

## (1) 取り組みの評価と今後の課題

エコアクション21の取組は13年を経過し、環境マネジメントシステムは有効に機能していると判断します。

環境方針に掲げる8項目においては、社員全員の意識向上、地域社会の環境保全に責任ある対応を実現すべく活動を行った。全ての活動において、真摯に取り組むことができ目標も達成できた。

今後も全社員で環境マネジメントシステム遂行に向け、地域や取引企業と連携し活性化を推進することを期待する。

## (2) 見直しと指示事項

環境経営方針は継続します。

実施体制は今後も現行の体制を継続します。

環境経営目標・計画の変更はありません。維持をしていきます。

プラスチック削減を来年度は重点的に進めていきます。

レジでの声掛け又プラスチック削減製品を増やすように努めてください。